



—グスクに見られる  
 積み石の加工石材を見る—

グ ス ク の 特 徴  
 石 積 み を 持 つ



左：首里城 あいかた積み 右上：中城グスク 裏門石積み 右下：座喜味グスク 石積み

2024.

9.7

土

入場無料

14:00～16:00

(開場 13:30)

※ 席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。

**講師** 山本 正昭 (考古担当)

**会場** 沖縄県立博物館・美術館  
3階 講堂

**受付** 当日先着 (定員 200 名)

**お問合せ** 098-941-8200  
〒900-0006  
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

琉球列島各地域にはグスクと呼ばれる遺跡が 300 力所以上分布しています。その中でも、沖縄本島中南部地域に分布しているグスクには石積みを伴っているものが多く見られます。14 世紀中頃の琉球では、石積みを高く積むようになり、最終的には高さ10m以上も積み上げるまで技術が向上しました。それを可能にさせたのが、石材を加工する技術にあります。

今回は加工石材にスポットを当て、グスクの石積みの謎に迫ります。

次回予告

2024. **10.12** (土) 14:00 ~ 16:00 (13:30 開場)  
博物館学芸員講座  
「美しい布 芭蕉布」

**講師** 篠原 あかね (美術工芸担当)